



7月27・28 第43回高萩まつり



よさこい飯能乱舞



松中ソーラン隊

高萩市の夏を彩る恒例の高萩まつりが7月27日・28日の2日間の日程で行われ、各地区の山車や神輿がお囃子と威勢の良い掛け声とともに高萩駅前通りを練り歩きました。今年も友好都市の埼玉県飯能市と山形県新庄市から市民約170人が参加し、高萩市民との交流を深めました。飯能市からは「よさこい飯能乱舞」が初めて出演。約120人が一糸乱れぬ迫力ある踊りで観客を魅了しました。27日の夕暮れから流し踊りが始まると祭りも最高潮。26団体約800人が「高萩市民ばやし」に合わせて舞いを披露しました。28日にも、神輿渡御のほか、各団体のYOSAKOIソーランやフラダンスなど多彩な催しが繰り広げられ、2日間で延べ約4万人の見物客がまつりを楽しみました。(今月の表紙)

☆流し踊りコンテスト審査結果☆

- ◎総合グランプリ オーシャンダンス
- ◎総合準グランプリ いつまでも仲間と輝いていたシャインズ

○正調部門

- 第1位 いつまでも仲間と輝いていたシャインズ
- 第2位 高萩市文化交流会
- 第3位 埼玉県飯能市
 - // トライビクス
 - // 常陽銀行高萩支店



○自由部門

- 第1位 オーシャンダンス
- 第2位 華水木鳴子会
- 第3位 有明ハギッズ



- 子供会奨励賞 有明子ども会・春日町
- 子供会敢闘賞 本町子供会

☆浴衣コンテスト結果☆



グランプリ
川崎理紗さん



特別賞
渡辺利衣さん



ファミリー賞
馬場信道さん
結衣さん

8月3・4 児童15人が飯能市へスポーツ通し友好都市交流

高萩市と友好都市飯能市の子どもたちによる軟式野球の交流試合が、飯能市民球場で行われました。この事業は、友好都市スポーツ交流事業として両市が毎年夏休みにスポーツ少年団の派遣、受け入れを交互に行っている事業です。今年も、市内の少年野球チームから選抜された15人が飯能市を訪問しました。中山氏の家紋が入った兜をかけて行った兎争奪戦では、2点先行されるも逆転。その



後、飯能市の猛攻により同点に追いつかれる熱戦を繰り広げました。結果は4対4の同点。野球を通じて友情や絆を育みました。

7月31～8月1 小学生が花貫川の源流を目指して探検



小学校5年生を対象とした「少年探検講座 花貫川の源流を探る」が7月31日から8月1日の2日間にわたって行われました。

市内の児童43人と埼玉県から「都市と農村交流事業」に参加している児童15人が参加し、花貫川の河口から源流を目指しながら、水質の調査や花貫ダムの見学など、川の生態や人と川との関わりについて楽しく学びました。途中の小滝沢キャンプ場には、青少年相談員

協議会の皆さんが川の中に長さ約25メートルの青竹のそうめん用樋を準備。箸と器を手にした児童たちが並び、流れてくるそうめんを箸ですくっては歓声を上げていました。



7 31 ~ 8 2 都市と農村の交流事業 埼玉県の小学生が自然体験



都会の子どもたちが親元を離れて高萩の自然の中で生活する「サマーチャレンジ in たかはぎ」が催され、埼玉県戸田市とさいたま市から参加した小学校5年生が農産物の収穫体験や昆虫採集などを楽しみました。この事業

は“高萩市里山づくり委員会”などの協力で高萩市が主催するもので、今年で2回目。応募者約100人の中から抽選で選ばれた小学生たち15人は、さいたま新都心駅をバスで出発。1日目は海水浴やバーベキューなどを楽しみました。2日目と3日目には地元高萩市の小学生と一緒に「少年探検講座」に参加。花貫川の源流を目指しながら、自然観察やキャンプファイヤーなどで交流を深めました。その他にも食用ほおずきやトウモロコシの収穫など、都会では経験できない様々なプログラムを体験。参加した子どもたちは、花貫川のせせらぎや、野鳥の声を聴きながら「自然の中でいろいろな体験ができておもしろい」と口をそろえ、汗をかきながらも笑顔でいっぱいでした。

8 15 恒久平和へ誓い新たに 戦没者追悼式



市主催の平成25年度市戦没者追悼式が、総合福祉センター多目的ホールで開かれ、先の大戦での戦没者の冥福

を祈るとともに、恒久平和への誓いを新たにしました。式には遺族や関係者約150人が参列。黙祷の後、草間市長が式辞で「戦争の悲惨な体験を風化させることなく、次の世代に伝えていくことが私たちの使命。恒久平和の実現に向けて努力し、豊かな郷土を築いてまいります」と誓いました。遺族を代表し、飯泉文家さんが追悼の辞で、当時の体験を語り「2度と戦争は繰り返してはなりません」と訴えました。続いて、稲川正昭さんご家族3人が悲しい歴史を風化させることのないよう、親から子へ三世に渡る平和への誓いを行いました。

8 3 ヤマメのつかみ取りなど 親子で自然体験



花貫ふるさと自然公園センターなどで「高萩里山林間親子体験塾」が開かれ、小学生とその保護者約180人がヤマメのつかみ取りやバーベキュー、竹細工などで夏休みを満喫しました。この事業は市民と行政が協働で実施する「げんき！高萩づ

くり事業」の一つ。花貫川清流の里づくり会(小野崎廣喜会長)が、子どもたちに花貫川とその流域の自然に愛着を持ち親子の絆を深めてもらおうと企画運営し、今年で4回目となります。ヤマメのつかみ取りで川に入った子どもたちは、水しぶきを上げながらヤマメを追い込んだり、岩の下に念入りに手を入れて捕るなどさまざま。体長約25センチの「大物」を捕らえた山縣大悟くんは「ぬるぬるしてつかみづらかったけど、楽しかった」と声を弾ませていました。

8 24・25 高萩市統計グラフ作品展 災害や節電のテーマも



市内の児童生徒が調査・作成した第17回高萩市統計グラフ作品展が、市文化会館で開催されました。

このコンクールは市民への統計思想の普及と表現技術向上を目的に高萩市統計協会などが毎年主催。17回目となる今年は、学年別やパソコン統計グラフの5部門に74点の応募がありました。いずれの作品もイラストや色紙を多用しているほか、グラフの配置を工夫しており、訪れた人の目を引いていました。中には、「電力事情」や「政治について」など社会問題に切り込んだ力作も。来場者が興味深そうに見入っていました。